

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

小野未鈴 (職種 / 管理栄養士 / 所属部署 栄養課)

功 績 令和6年度介護保険改定において、栄養マネジメント強化加算取得(11単位)を中心となって担い、情報収集の為に自ら日本栄養士会に入会。週3回のミールラウンドの方法を考案し、ご利用者の食に対する安全・楽しみ・加算取得に貢献した功績。

また、食形態・禁食一覧表の更新、ハーフ食のガイドライン作成、経口維持加算の帳票類を介護支援専門員より受け継ぎ、施設介護計画作成においても、新たな転換に貢献する。

推 薦 者 三浦ルミ (栄養課主任)

推 薦 理 由 新たな加算取得により増収(約4,500千円/年)に繋げると共に、自らご利用者の食事摂取状況を確認しながら安全に配慮するその姿勢は、他の職員の手本となると共に、施設理念である「質の高いチームケア」に通じます。

自らの専門性を最大限に発揮することで、ご利用者が安全に安心して美味しい食事を食べる事を追及し続けるその熱意、また「その姿をみることがやりがい」と話すその笑顔は理事長賞に値すると思ひ、推薦させていただきます。

内 容

令和5年度より、管理栄養士2名の役割を①現場運営 ②ご利用者満足度強化及び質向上に2分化して運営して参りました。小野は直接ご利用者と関り、栄養ケアマネジメントにおける質の向上を担って参りました。

令和6年度介護保険改定のタイミングにおいて、栄養マネジメント強化加算取得を提案すると、小野は自ら日本栄養士会に入会し、加算取得の為に知識や情報収集、研修参加などで仕組みを創り上げました。週3日のミールラウンド実施はハードルが高かったものの、介護士の協力を仰ぐ為にCAREKARTEと連携し、負担が掛からずに食事観察チェックができる様にカスタマイズ。入力の実験運用においても、自ら率先して実施しました。

経口維持会議においても司会を勤め、食形態・禁食一覧の更新を行い現場職員へ周知。現状の食形態が現状と一致しているかを、自らの目で確認しリアルタイムで変更して行きました。また食事検討委員会へ参加している中で、ハーフ食提供におけるガイドラインに疑問を感じ、ご利用者及び職員の負担軽減の為に内容を更新。更に加算取得の形ができると、特養CMより経口維持加算更新に伴う帳票類の引継ぎを提案し、CM負担軽減においても貢献してくれました。

このことによりCM業務に余裕ができ、開設時より変更することができなかったケアプランの負担軽減の着

手が漸く見えて参りました。このことは今後、介護現場においても、帳票作成の負担軽減やモニタリングの質向上に大きく繋げる事ができます。自らの専門性を大いに発揮しているのみならず、他専門職に対しても多くの波及効果を齎してくれております。